

Youth Hostel Pick up

迎える人と訪れる人が ともにつくるあたたかな空間

エナジック沖縄国際ユースホステル

90%以上のリピート率! 食事送迎あらゆる面で滞在をサポート!! エナジック沖縄国際ユースホステル

沖縄最大の都市・那覇にあるユースホステル。那覇空港からの便が良く、沖縄都市モノレール「ゆいレール」那覇空港駅から9分の壺川駅が最寄り。同駅から徒歩5分という立地だ。このゆいレールを使えば、国際通り商店街などの観光地へも容易にアクセスできる。また、フェリーなどが発着する泊港からもタクシーなどで15分の距離にある。



〒900-0026 沖縄県那覇市奥武山51 電話: 098-857-0073
URL: <http://www.oiyh.org/>



バス・トイレ付きでリゾートホテルの雰囲気も感じられるスペシャルゲストルームは、良い意味でユースホステルのイメージを変えてくれるに違いない。



*これぞユースホステルという二段ベッドのお部屋は、団体やグループだけでなく、実はお子様連れにも人気なのだとか。



今回お話を伺った、御園祐史さん(左)と新里純二さん(右)。

古くから世界中とつながってきた、 沖縄最大の都市・那覇

沖合を流れる暖流・黒潮の影響もあり、年間の平均気温差が少なく、温暖で過ごしやすい沖縄の県都・那覇。国場(こくば)川と安里(あさと)川が注ぐ平野に形成されたこの街には、琉球王国時代から港が整備され、商都として発展した。首里王府が編んだ歌集『おもろさうし』にも「唐、南蛮寄り合う那覇泊(とまり)」と歌われ、古くから海外との窓口としてにぎわいを見せていたことがわかる。

太平洋戦争では激しい戦闘が行われ、焦土と化してしまっただが、戦後急速に復興が進んだ。市内最大の繁華街・国際通り商店街や、火災を乗り越え復元が進む世界文化遺産・首里城跡など多彩な名所を擁し、国内外から多くの観光客が訪れている。

今回取材したのは「エナジック沖縄国際ユースホステル」。2023年4

月から着任した、マネージャーの新里純二(しんざと・じゅんじ)さん、御園祐史(みその・ゆうじ)さんにお話を伺った。陸上競技場や野球場など、各種競技施設を備えた沖縄県営奥武山公園に隣接するこのユースホステルは、最大200名の宿泊が可能。県外からの修学旅行生や、スポーツ大会などに参加する離島在住の県内小中高校生の利用も多い。もちろん家族や個人での利用もOK。沖縄観光の拠点としてもぴったりのユースホステルだ。お二人には、これまでの旅や仕事を通して得てきたものや、エナジック沖縄国際ユースホステルの魅力、今後の展望などについて伺った。

偶然を楽しむ旅と地域密着の仕事で、 コミュニケーション力を磨いた

地元・那覇生まれの御園さんは、学生時代から旅先での偶然の出会いを楽しんできた。

「年に2回くらいは家族や友人と旅に出るんですが『行き当たりばったり』な旅が結構好きなんです。安くておいしい現地ならではの食べ物や、息をのむような美しい景色など、各地で思いもよらない新しい発見をすることが旅の醍醐味だと思っています」

「行ったら何とかなる」というアグレッシブさで、海外にも繰り出す御園さん。言語の壁をものともせず、ボディランゲージを駆使して現地の人とコミュニケーションを深める。

「先日台湾に行ったときも、困ったときに現地の方に手を差し伸べてもらいました。人の優しさを感じながら、旅を楽しんでいます」
大学卒業後は農協に就職。多くの時間を沖縄本島中部にある読谷村(よみたんそん)の店舗で過ごした。農家向けの肥料や家畜の飼料を供給したりと、地域密着で農業を支える日々。祖父母ほど年の離れた顧客と対峙する中で学んだのも、コミュニケーションの大切さだった。

「最初は読谷村の方が聞き取れず苦労したんですが、来店するおじい・おばあと長くお付き合いするうちにどんどん打ち解けて、良い関係を築くことができました。結局、方言は完全に聞き取れるようにはならなかったですが(笑)」

充実した日々を送っていた御園さんが、エナジック沖縄国際ユースホステルでスタッフを募集していることを知ったのは2023年。学生のときから憧れを抱いていた宿泊業界への挑戦を決意した。「昔からやりたかった仕事なので、期待を持ってこのユースホステルに入りました。接客だけでなく、修繕や防火対策など施設管理の要素もあって、いろいろ学んでいるところです。年配のお客さまが泊まりに来るときは、農協時代を懐かしみながら接客しています」

全国各地に赴き顧客と向き合ってきた経験を、この宿で生かす

新里さんも、生粋の沖縄人(うちなんちゅ)。旅先では、沖縄とのつながりを感じる場面が多いと話す。

「以前、桃岩荘ユースホステルがある礼文島を訪れたとき、ガイドをしてくれたスタッフがたまたま沖縄の人でびっくりしたんです。沖縄が観光の閑散期になる梅雨時に、出稼ぎで北海道に行っているという方でした。また、神奈川の鶴見や東京の吉祥寺などには、昔から沖縄の人々が集住しているエリアがあります。近くを訪れたときにぶらりと歩いて、偶然会った沖縄出身者と交流することも。県外で頑張っている同郷の方と出会えるのは嬉しいですね」

そうした機会が得られたのは、前職で日本中を飛び回っていたからだ。沖縄本島に本拠を置くホテルの営業職として、全国の旅行会社を訪れてセールスをしていた。

「営業は見た目は華やかかもしれませんが、やっていることは地味。とにかくお客さまと真摯に向き合い、きめ細やかに対応することが大事です。それを積み重ねて、ホテルのリピーターが着実に増えていくのは嬉しかったですね」

ふるさとの本島で腰を据えて仕事をしたいと考えていた2023年、知人を介して知ったエナジック沖縄国際ユースホステルの求人に応募した。

「営業とはかけ離れた仕事でしたが、率直に『おもしろそうだな』と思いました。前職では、フロントや調理などの部署があり、きっちり業務が分けられていましたが、ユースホステルにはその垣根がなく、宿泊に関するほとんどすべての業務に携わることになって驚きました。久しぶりの現場での仕事なので戸惑うことも多いですが、お客さまと向き合うという基本の部分は、前職と変わらないですね」

家族連れにもぴったり 沖縄旅を気軽に楽しめるユースホステル

エナジック沖縄国際ユースホステルの客室は、2段ベッドが並ぶ



大小2つの研修室を備え、団体研修や修学旅行といった大型団体の利用も。



アクティブな旅を楽しんだ後は、大浴場でリフレッシュ！



奥武山公園を見下ろすテラスでは、バーベキューを楽しむことも。



合宿などの利用も多い、エナジック沖縄国際ユースホステル。食堂にはボリュームだけでなく、栄養のバランスも考えられたメニューが並び。

ミトリータイプで構成されている。大浴場でのバスタイムや、お腹いっぱい食べられるバイキング形式の食事なども含め、団体に訪れる小中高生にとっては非日常体験だ。

「生徒さんたちがいつも楽しそうに過ごしている姿が印象的です。もちろん、個人のお客さまにもご利用いただいていますし、ご家族連れで宿泊するのもおすすめです」(新里さん)

館内4階には開放的なテラスがあり、バーベキューが可能。1階のロビーにある共有スペースでは、備え付けのパーティーグッズなどで遊べる。ホテルとは一味違うアットホームな空間で、リーズナブルに沖縄の旅を満喫できるのが、エナジック沖縄国際ユースホステルだ。新里さんが続ける。

「リピーターも多く、ご両親と何度も泊まってくれる小学生が、訪れるたびに成長していく姿を目の当たりにすることもあります。もっと多くの方に、気軽に滞在していただけるよう、新しい宿泊プランづくりも検討しているところです」

そして、この宿が利用者から親しまれる理由のひとつが、スタッフと宿泊者の距離の近さだ。フロントでは、できる限り泊まる人に寄り添った対応を心がけているという。

「一般的なホテルのように窓口で対応するだけでなく、必要に応じて事務所から出て、お客さまの隣に立って案内することも多いですね。それを柔軟にできるのがユースホステルのいいところ。お客さまと協力して、このユースホステルを一緒につくっているという感覚です！」

そう語る御園さん。最後に読者へ向けて、沖縄愛あふれるメッセージをくれた。

「1年中通じやすいのが、沖縄ならではの魅力です。気候も人もあったかい。そんな沖縄にぜひお越しください！」

A ステーキハウス88 辻本店



1978年開業のステーキハウス88(ハチハチ)の総本店。20種類を超えるアメリカンステーキをリーズナブルに楽しめる。おすすめは「赤肉の王様」。「テンドーロインステーキ」。タコライスなどのサイドメニューにも注目だ。

那覇市辻2-8-21
TEL:098-862-3553

B ジェフ サンライズ那覇店



県内のみで店舗展開する、店内調理にこだわったファストフードチェーン・ジェフ。サンライズ那覇店は市内唯一の店舗だ。ゴーヤーを卵でとじたパティにポークランチオンミートを加えた「ぬーやるバーガー」をぜひ。

那覇市壺屋1-1-5
TEL:098-867-4941

C ブルーシール 国際通り店



ブルーシールは、創業70年を超える「アメリカ生まれ、沖縄育ち」のアイスショップ。秘伝のレシピをもとにした口溶けの良いアイスは、世代を超えて愛されている。国際通り店ではクレープやサンデーも味わえる。

那覇市牧志1-2-32
TEL:098-867-1450



那覇市ってこんなところ！

那覇が首里に代わって沖縄の中心となったのは、廃藩置県が行われた明治時代。特別区となった後、1921年に市制が施行され「那覇市」が誕生した。戦後のアメリカによる占領統治を経て、1972年に本土復帰。現在では約32万人を擁する都市となっている。市内の那覇空港には、日本全国から直行便が就航。大阪(関西・伊丹)と約2時間~2時間半、東京(羽田・成田)とは約2時間半~3時間で結ばれている。このページでは、エナジック沖縄国際ユースホステルからアクセスしやすいスポットを紹介する。

那覇市周辺おすすめ SPOT

D 第一牧志公設市場



1950年開設の第一牧志公設市場。1階の店舗で買った食材を2階の食堂で調理してもらい、出来たてを食べられる「持ち上げシステム」が特徴だ。2023年にはリニューアル工事が完了。より快適になった市場を楽しもう。

那覇市松尾2-10-1
TEL:098-867-6560

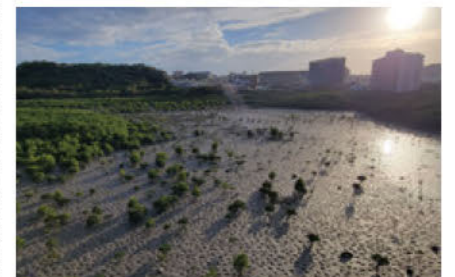
E 奥武山公園



陸上競技場や野球場などを有する約30ヘクタールの総合運動公園。フリーマーケットなど各種イベントも開催される。1周約1kmのジョギングコースを走ったり、芝生広場のんびりしたりと、思い通りに過ごしてみよう。

那覇市奥武山町52
TEL:098-858-2700

F 漫湖水鳥・湿地センター



多くの水鳥が生息し、ラムサール条約登録湿地になっている漫湖。その歴史や豊かな生態系について学べるのがこの施設だ。2階の観察展望室やマングロープ林に延びる木道から、干潟の水鳥たちを観察してみよう。

豊見城市宇豊見城982
TEL:098-840-5121



抽選で **ペアご宿泊券(1泊2日)1名様にプレゼント!**

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの専用お申し込みフォームから!

<http://www.jyh.or.jp/hmQ>

応募〆切:2024年4月末日

※当選者にはご応募時にご登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。@jyh.or.jpからのメールが受信できるように設定をお願いいたします。



日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟 (Hostelling International) や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

こどもはおとなに。
おとなはこどもに、
なれる場所。



Hostelling Magazine vol.36



Cover Interview
清宮レイ (乃木坂46)
思い立ったら、すぐ旅へ

P.02



Youth Hostel Pick up
エナジック沖縄国際
ユースホステル
迎える人と訪れる人が
ともに作るあたたかな空間

P.08



Hostelling Magazine
× 地球の歩き方
知られざる北島の絶景を回る旅
ニュージーランド

P.12



PLAtZ

P.16



おしえて! 旅GIRL

P.17



松島むうの
晴れときどき旅びより

P.18



YH-GUIDE
ユースホステルガイド
中国・四国 /
九州・沖縄地方

P.20



Hostelling Magazine vol.36
まとめてダウンロード

※本誌の情報は2024年2月10日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地に確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島 真

TEL. (03)5738-0546 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。